

「第7回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム」  
平成16年度 第1回 プログラム検討会

議 事 次 第

日時：平成16年5月24日（月）  
14:00-16:00

場所：中央合同庁舎5号館 5階 共用第7会議室

- 1 開会
- 2 環境省挨拶
- 3 議題
  - (1) 第7回国際シンポジウム・プログラムについて
  - (2) その他
- 4 閉会

(資料一覧)

- |     |                         |
|-----|-------------------------|
| 資料1 | プログラム検討会委員名簿            |
| 資料2 | 第7回国際シンポジウムプログラム方針（案）   |
| 資料3 | 過去の開催状況                 |
| 資料4 | 平成15年度第2回プログラム検討会 議事概要  |
| 資料5 | 第7回国際シンポジウムプログラム策定手順（案） |

## 「内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム」

## プログラム検討会委員名簿

- 青山 博昭 (財) 残留農薬研究所毒性第一部副部長  
 有菌 幸司 熊本県立大学環境共生学部教授  
 井口 泰泉 大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
 岡崎統合バイオサイエンスセンター教授  
 伊藤 尚史 旭化成ケミカルズ(株)RC・コンプライアンス室主幹研究員  
 井上 達 国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター長  
 岩本 晃明 聖マリアンナ医科大学医学部教授  
 奥野 泰由 住友化学工業(株)生物環境科学研究所  
 菅野 純 国立医薬品食品衛生研究所  
 安全性生物試験研究センター毒性部長  
 ○鈴木 継美 東京大学名誉教授  
 遠山 千春 (独) 国立環境研究所環境健康研究領域長  
 長濱 嘉孝 大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
 基礎生物学研究所生殖研究部門教授  
 名和田 新 九州大学大学院医学研究院教授  
 森 千里 千葉大学大学院医学研究院教授  
 森田 昌敏 (独) 国立環境研究所統括研究官  
 安野 正之 滋賀県立大学環境科学部教授  
 横田 弘文 (財) 化学物質評価研究機構安全評価技術研究所  
 若松 佑子 名古屋大学生物機能開発利用研究センター教授

○：座長 敬称略、五十音順

## 第7回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム プログラム方針（案）

### 1 全体日程

例年どおり、第1日目午後一般向けプログラム、第2日目と第3日目は専門家向けプログラムとする。

### 2 テーマについて

- ・ 国際連携・協調により進めている内分泌攪乱化学物質問題の今後の研究の方向性について議論等を行うとの目的に沿って、内分泌攪乱化学物質に関することを取り上げる。
- ・ 開催地の活動や関心を活かし、メダカの観察などの環境教育や子供の健康に関することを取り上げる。

### 3 一般向けプログラム（12月15日午後）

#### (1) 特別講演

内分泌攪乱化学物質に関して、一般の方が興味を持ちうる、専門的過ぎない内容での講演を依頼する（講師：養老孟司先生、テーマ：未定）。

#### (2) 取組の現状

今回は、SPEED'98の見直し作業と関連して、環境省の取組みをテーマとする。

- ・ 施策の方向性（環境省）
- ・ 研究分野の取組み（専門家：パンフレット案）
- ・ 行政の取組み（環境省環境安全課）

#### (3) パネルディスカッション

テーマ

「環境教育において内分泌攪乱化学物質問題はどうか扱われているか」

- ・ パネリスト  
地元学校教育関係者、学識経験者、報道関係者（子供番組制作）、教育行政関係者、環境行政関係者 等
- ・ 環境教育において内分泌攪乱化学物質問題がどうか扱われているのかという観点からのディスカッション。
- ・ 会場との意見交換の時間を十分とる。
- ・ 魚の巣作りの様子のビデオ等を含めることを検討。

#### 4 専門家向けプログラム（12月16・17日）

- (1) 基礎科学分野
- (2) 野生生物分野
- (3) 人健康影響分野
- (4) 暴露分野
- (5) 研究の最前線と今後の展開
- (6) 内分泌攪乱作用に関するリスクコミュニケーション

\* (1)～(5)についてはコーディネーターに構成案策定を依頼。

(6)については環境省環境安全課で更に検討。

\*各セッション90分。

\*海外からの招聘は各セッション4～5名まで可能。

#### 5 その他の課題

##### (1) スタディビジットを設定する場合

- ・ 目的 我が国での内分泌攪乱化学物質研究の現場視察
- ・ 対象 海外からの参加者を中心にした希望者
- ・ 日程 12月15日（一般向けプログラムと併行）
- ・ 見学先

岡崎国立共同研究機構

名古屋大学生物機能開発研究センター

##### (2) ナイトセッションは設けない。

##### (3) WHOワークショップの開催については、今回は開催時期等の観点から予定しない。

##### (4) 要旨集

- ・ 一般向けプログラムは日本語版のみとする。
- ・ 専門家向けプログラムは英語版のみとする。
- ・ 要旨提出依頼に際しては、様式を提示する。

##### (5) スライド等の取り扱い

- ・ シンポジウム当日使用したスライド等は環境省ホームページに掲載する。
- ・ 事前にスライド等の使用許可をとっておく。

## 内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム 過去の開催状況

	開催地	特別講演	取組の現状での主な内容	パネルディスカッションテーマ	セッションテーマ													
					物質特性	基礎科学 作用メカニズム	試験法	野生生物	人健康影響	曝露、曝露 リスク評価	評価 基準	免疫	甲状腺	性分化	海外取組	日本取組	リスクコミュニケーション	その他
第1回	京都市	ロブ・グイッサー 森田昌敏	—	パネルディスカッション	内分泌攪乱化学物質とは	作用メカニズム	スクリーニング法	野生生物への影響	人への影響	毒性・リスク評価						各界の取組		
第2回	神戸市	—	—	パネルディスカッション		作用メカニズム Dose-response 基礎生物学と環境毒理学	スクリーニング試験 魚類の試験法	野生生物への影響	健康影響							日本での調査研究		
第3回	横浜市	シーア・コルボン	政治と海外での取組み	「内分泌攪乱化学物質どこまでわかったか」		作用メカニズム	試験法	野生生物への影響	健康影響	リスク管理								低用量問題
第4回	つくば市	ポーヤンセン	我が国の研究的取組み	「環境ホルモン21世紀・開かれたアプローチを目指して」		脳神経系機能発達への影響と作用メカニズム	スクリーニング試験法	野生生物への影響	健康影響						海外取組の現状			構造活性相関 トキシコジェノミクス
第5回	広島市	堤治	国際機関(OECD、WHO等)や欧米の取組み	「環境リスクコミュニケーション」				カエル	子供の健康	曝露評価 リスク評価		免疫影響	甲状腺	性分化				
第6回	仙台市	ファンデルクラーク	我が国の研究的取組み	「内分泌攪乱化学物質問題における政治の役割」		基礎科学		野生生物	人健康影響	曝露	評価基準				海外の取組			

内分泌攪乱化学物質に関する国際シンポジウム  
平成15年度第2回プログラム検討会  
議事概要

1. 日時 平成16年3月9日(火) 13:30~15:00

2. 場所 中央合同庁舎5号館5階 第7会議室

3. 出席者

プログラム検討委員：鈴木委員長、井口委員、井上委員、奥野委員、森田委員、  
安野委員

オブザーバー：若松佑子(名古屋大学教授)

事務局：環境安全課(安達課長、野上専門官、田辺専門員)

4. 議題

- (1) 第6回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム(仙台)の結果について
- (2) 第7回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム(名古屋)について
- (3) その他

なお、検討会は公開で行われた。

5. 議事要旨

(1) 第6回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム(仙台)の結果について  
事務局から資料1-1~1-3に基づき、「プログラムに関するアンケート結果」、「プログラム検討委員、宮城県、仙台市からの意見」について説明した後、質疑応答が行われ、以下について事務局で検討することとなった。

① 発表に使用したスライド等を速やかに情報提供できる手順作り

(2) 第7回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム(名古屋)について  
事務局から資料2-1~3-3に基づき、「開催概要」、「プログラム策定手順」、「基本方針」、「プログラム検討委員、愛知県、名古屋市からの意見」、「WHOのワークショップの開催」について説明した後、質疑応答が行われ、以下の2点を事務局で検討することとなった。

① スタディビジットにおいて、名古屋大学生物機能開発利用研究センター等の訪問

② シンポジウムに併せて、日本でのWHOワークショップ開催

第7回国際シンポジウム 今後の進め方(案)

	H16.5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	シンポジウム 開催 12/15-17	H17 2~3月
プログラム 検討会	テーマ・セッション コーディネーター 決定		・各編成案の 検討と承認 (事務局持回 り)		・要旨集の座長 による 検討と承認				結果に ついて
セッションコー ディネーター		・セッション編 成 (演題/講師 等)	・演題/講師内 定の連絡 ・要旨作成依頼						
事務局		・各編成案に ついて検討委 員へ意見を求 める(事務局 持回り)	・正式な招聘手 続き ・リーフレット作 成	・要旨集とりまとめ ・リーフレット配布		・チラシ、要旨 集作成	・チラシ、要旨 集配布		
演題・講師		・編成 ・検討委員へ 意見を求める	・確定	・内定連絡と要 旨作成依頼 ・正式な招聘手 続き					
要旨集等			・要旨作成依頼	・とりまとめ	・要旨集確定 (委員長承認)	・要旨集作成	・要旨集配布		
リーフレット・ 一般向リーフ レット(チラ シ)等			・作成	・配布 第2回お知らせ ・リーフレット配布 (和/英)		・チラシ、要旨集 作成(和/英)	第3回お知らせ ・チラシ、要旨集 配布 (和/英)		